

正門の桜並木に新芽が息吹き、新春到来の気配を感じさせるこの佳き日に、大阪府立北かわち阜が丘高等学校第11回 卒業証書授与式を挙行いたしました処、ご家族の皆様の多数のご出席、また、多くの方々からお祝いのお言葉を頂戴し、卒業生はもとより、本校教職員にとりまして何にもまして慶びとするところでございます。

ただいま11期生、230名に卒業証書を授与いたしました。

保護者の皆様におかれましては、本校での教育活動を終え、晴れやかに巣立ちゆくお子様の英姿をご覧になられ、感慨もひとしおのことと拝察いたします。改めまして、お祝い申し上げます。

本日は、ご卒業おめでとうございます。

また、入学以来、本校教育の推進に多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。本当に有難うございました。

11期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本校に入学して以来、それぞれ勉学に、学校行事に、部活動によく頑張ってきました。本日、皆さんに渡される卒業証書は、言うまでもなく、皆さん一人一人が日々奮闘し、活躍してきた結晶であります。しかし、また同時に、自分一人だけの力で得られたのではなく、ご家族の方々の愛情と励まし、先生方の時に厳しくも熱心な指導と慈しみ、先輩や友人たちとの絆等、多くの人たちに支えられ、得られたものであるということは言うまでもありません。

皆さんが本校で過ごした3年間を振り返ってみると、本当に激動の日々でしたね。入学直後の6月に大阪北部地震が発生し、肝を冷やす思いと、これからの高校生活は大丈夫かと不安な思いを抱かせました。2年生、修学旅行の直後には、新型コロナウイルスについての報道があり、世界中を震撼させるとともに、私たちの生活様式を一変させる事態となりました。予測できない出来事に、日々の生活が一変させられる事態が続いたのですが、皆さんは、これまでの日常、先輩方と同様に本校での高校生活を全うし、部活動の公式戦や作品の出展等において、練習成果を発揮した人、リーダーシップを発揮し、また、陰ながらサポートし行事を成し遂げた人、一人ひとりが役割を果たす中で、友人関係や今の自分に悩み、頼りなく手探りし、つつい立ち止まってしまった人など、本校での高校生活に、色々な思い出を残すことができました。幾多の苦難の乗り越え、今、卒業という人生の大きな転機に立ち、また、コロナ禍の今だからこそ、皆さんには、改めて、生活を支え、励ましてくれる周りのの方々へ感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

さて、卒業生の皆さんには、昨年(ドラマで)話題になった池井戸 潤さんの作品から次の一節を紹介したいと思います。

この言葉は、幾多の困難に直面し、事業達成を諦めざるを得ない状況下で、くずぶる部下に対して主人公が発した言葉であり、私自身、印象深く、また心打たれた一節です。

『今の世の中を憐み、文句を言ったり腐してみたりする。

でもそんなことは誰にだってできる。・・・

いつの世にも、文句ばかり言ってる奴は大勢いるんだ。

だけど、果たしてそれに何の意味がある。・・・

どうすれば、そういう世代が二度と出てこないようになるのか、その答えを探すべきなんじゃないか』 (池井戸潤『半沢直樹』より)。

高校生活3年間には、自分の思い通りに事が進まず、つつい文句を言い、時には友人や先生方とぶつかり、つつい拗ねてしまった人もいましたね。昨日までは、担任の先生や部顧問の先生方、スクールカウンセラーなど本校の教職員が、みなさんの話を聞き、各自の思いを調整したり、また、自分で考え直す機会を設けたり等、

解決することができました。これからは、一人ひとりが一社会人として、相手と十分に話し、時には調整し、よりよい生活ができるように努めることが求められます。そのためには、昨日の自分よりも成長した今日の自分のために、文句や言い訳でごまかすのではなく、今できることを探り、日々行動することが大切です。

また、自身の言動・行動に、一社会人として責任が求められますので、これまで以上に周りを思いやる気持ちと、自身への施しに対する感謝の気持ちを忘れないようにして下さい。

だからといって、引込み思案になる必要はありません。コロナ禍でソーシャルディスタンスの確保が求められていますが、心まで離れる必要はありません。これまで同様に、周りにいる友達、同僚、先輩に自ら相談し、よりよい生活が、そして、一社会人として、よりよい社会が作り上げられるよう、各自が着実な活動を遂行してもらいたいと思います。

明日からは、一人ひとり異なる進路を歩むことになり、本校に立ち寄る機会は少なくなります。昨日同窓会への入会を済ませた皆さんには、OB・OGとして引き続き、本校の応援を、お願いします。

後輩たちの部活動指導や、進路説明会の講師として、時には、近況報告、悩み相談等、本校に立ち寄って下さい。教職員一同、皆さんがそれぞれの場においてご活躍されることを期待・応援しています。

また、皆さんの近況・活躍ぶりは、先輩の体験談として、後輩や本校教職員に披露し、引き続き、本校が発展するための潤滑油として紹介させていただきます。

さあ、旅立ちの時がきました。

卒業生の皆さん、まずは、4月から新たな環境でスタートするための準備を始め、日々、奮闘・ご活躍されることを期待しています。頑張ってください。

最後になりましたが、これまで様々なご支援・ご協力をいただきました地域の皆様、同窓会の皆様、後援会の皆様、保護者の皆様を始め、ご関係の皆様にご心よりお礼を申し上げ、大阪府立北かわち臯が丘高等学校 第11回卒業式の式辞といたします

令和三年二月二十六日

大阪府立北かわち臯が丘高等学校

校長 重松 良之